



平成22年12月期 第1四半期決算短信

平成22年4月28日

上場会社名 コカ・コーラウエスト株式会社
 コード番号 2579 URL <http://www.ccwest.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年5月13日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東大福

(氏名) 吉松 民雄
 (氏名) 角町 誠

TEL 092-641-8585

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第1四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第1四半期	77,633	△2.9	△891	—	△924	—	△752	—
21年12月期第1四半期	79,952	—	△3,742	—	△3,784	—	△2,953	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第1四半期	△7.52	—
21年12月期第1四半期	△29.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第1四半期	321,557	220,571	68.6	2,205.53
21年12月期	326,818	222,816	68.2	2,227.96

(参考) 自己資本 22年12月期第1四半期 220,497百万円 21年12月期 222,741百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	21.00	—	21.00	42.00
22年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	172,800	△2.5	△1,300	—	△1,700	—	△1,000	—	△10.00
連結累計期間	369,300	△0.1	7,000	212.1	6,600	216.5	3,600	—	36.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細につきましては、4ページ「定性的情報・財務諸表等 4. その他」をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年12月期第1四半期 | 111,125,714株 | 21年12月期 | 111,125,714株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年12月期第1四半期 | 11,150,903株 | 21年12月期 | 11,150,278株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年12月期第1四半期 | 99,975,144株 | 21年12月期第1四半期 | 99,977,236株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって業績予想とは大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、4ページ「定性的情報・財務諸表等 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の改善や緊急経済対策の効果により、景気は持ち直しつつあるものの、依然として個人消費は低い水準にあるとともにデフレが継続するなど、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

清涼飲料業界におきましても、雇用・所得環境の悪化に伴う消費者の節約志向の強まりや、低価格化の進行により、清涼飲料市場は引き続き厳しい状況が続いております。

このような厳しい経営環境の中、当社グループは、「営業の変革」、「SCM（サプライチェーンマネジメント）の変革」、「お客さま起点への行動変革」の「3つの変革」を徹底して実行し、収益目標を必ず達成することを経営方針とし、厳しい経営環境においても着実に利益を上げることができる「筋肉質で強固な企業集団」を目指し、グループ一丸となって種々の課題に取り組んでおります。

昨年実施した当社と営業機能を担う子会社との統合に引き続き、平成22年1月1日付で、当社グループにおいてエリア別に販売および物流を担当していた西日本ビバレッジ株式会社、コカ・コーラウエストジャパンセールス株式会社および関西ビバレッジサービス株式会社の3社を、「ウエストベンディング株式会社」、「西日本ビバレッジ株式会社」および「コカ・コーラウエストリテールサービス株式会社」の3社に事業別に再編し、さらなる営業・販売機能の強化および間接コストの削減を推進しております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績の状況は、次のとおりであります。

<売上高>

雇用・所得環境の悪化に伴う消費低迷など依然として厳しい環境の中、販売数量は減少いたしました。これにより、売上高は前第1四半期連結累計期間に比べ23億1千9百万円減少し、776億3千3百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

<営業損益>

売上高は減少いたしました。原価低減などのSCM（サプライチェーンマネジメント）効果の発現や、グループを挙げて取り組んでいるコスト削減等により、営業損益は、前第1四半期連結累計期間に比べ28億5千万円改善し、8億9千1百万円の営業損失となりました。

<経常損益および四半期純損益>

営業損益の改善を主要因として、経常損益は、前第1四半期連結累計期間に比べ28億5千9百万円改善し、9億2千4百万円の経常損失となりました。また、前第1四半期連結累計期間において発生していた当社と営業機能を担う子会社との統合に伴うグループ再編関連費用などの特別損失が、当第1四半期連結累計期間において発生しなかったことなどにより、四半期純損益は、前第1四半期連結累計期間に比べ22億円改善し、7億5千2百万円の四半期純損失となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ52億6千1百万円減少し、3,215億5千7百万円（前連結会計年度比1.6%減）となりました。これは主に、売上債権や減価償却による有形固定資産の減少によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ30億1千6百万円減少し、1,009億8千5百万円（同比2.9%減）となりました。これは主に、買掛金等の仕入債務の減少によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ22億4千5百万円減少し、2,205億7千1百万円（同比1.0%減）となりました。これは主に、配当金の支払いによるものであります。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況等につきましては、次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、65億8百万円のプラス（前年同期比14.9%増）となりました。税金等調整前四半期純損益が改善したことを主要因として、当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期連結累計期間に比べ8億4千2百万円増加しております。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、20億6千4百万円のマイナス（前年同期79億3千6百万円のマイナス）となりました。前第1四半期連結累計期間においては、大型投資にかかわる支出が発生していたことが主要因となり、当第1四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期連結累計期間に比べ58億7千2百万円のプラスとなりました。

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

財務活動によるキャッシュ・フローは、24億9千4百万円のマイナス（前年同期29億2千5百万円のマイナス）となりました。リース債務の返済による支出が減少したことを主要因として、当第1四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期連結累計期間に比べ4億3千1百万円のプラスとなりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ19億4千9百万円増加し、731億7千1百万円（前年同期比319.8%増）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は、雇用・所得環境の悪化に伴う消費低迷など厳しい環境の中で、グループを挙げて取り組んでいるコスト削減等により、営業損益、経常損益、四半期純損益は計画を上回りましたが、今後は飲料業界の最盛期である夏場の天候や消費低迷の継続等のリスクを考慮し、平成22年12月期第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、平成22年2月3日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 特有の会計処理

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,689	20,634
受取手形及び売掛金	18,714	21,630
有価証券	41,235	51,335
商品及び製品	23,706	22,861
仕掛品	157	0
原材料及び貯蔵品	1,833	2,055
その他	15,797	17,779
貸倒引当金	△134	△131
流動資産合計	133,999	136,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,450	34,907
機械装置及び運搬具（純額）	17,941	19,010
販売機器（純額）	23,099	23,905
土地	53,006	53,006
リース資産（純額）	4,147	4,605
建設仮勘定	439	385
その他（純額）	1,671	1,801
有形固定資産合計	134,756	137,622
無形固定資産		
のれん	1,537	2,112
その他	4,268	4,344
無形固定資産合計	5,806	6,457
投資その他の資産		
投資有価証券	28,342	27,658
前払年金費用	11,231	11,606
その他	7,864	7,753
貸倒引当金	△443	△445
投資その他の資産合計	46,994	46,573
固定資産合計	187,557	190,653
資産合計	321,557	326,818

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,956	17,309
リース債務	2,454	2,645
未払法人税等	523	783
未払金	12,511	13,925
その他	7,304	6,440
流動負債合計	38,750	41,105
固定負債		
社債	50,000	50,000
リース債務	1,782	2,050
退職給付引当金	5,421	5,512
役員退職慰労引当金	17	16
負ののれん	518	622
その他	4,495	4,694
固定負債合計	62,235	62,897
負債合計	100,985	104,002
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,231	15,231
資本剰余金	109,072	109,072
利益剰余金	121,321	124,174
自己株式	△25,760	△25,759
株主資本合計	219,865	222,718
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	632	23
評価・換算差額等合計	632	23
少数株主持分	73	74
純資産合計	220,571	222,816
負債純資産合計	321,557	326,818

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	79,952	77,633
売上原価	44,576	42,125
売上総利益	35,376	35,508
販売費及び一般管理費	39,119	36,399
営業損失(△)	△3,742	△891
営業外収益		
受取利息	31	43
受取配当金	10	10
負ののれん償却額	90	103
その他	78	101
営業外収益合計	211	260
営業外費用		
支払利息	51	174
持分法による投資損失	58	48
固定資産除却損	67	12
その他	75	57
営業外費用合計	252	293
経常損失(△)	△3,784	△924
特別利益		
補助金収入	165	118
事業譲渡益	—	34
特別利益合計	165	153
特別損失		
固定資産除却損	96	—
投資有価証券評価損	29	13
ゴルフ会員権評価損	10	—
グループ再編関連費用	472	—
販売機器設置対策費用	323	—
リース会計基準の適用に伴う影響額	52	—
特別損失合計	985	13
税金等調整前四半期純損失(△)	△4,603	△784
法人税、住民税及び事業税	95	470
法人税等調整額	△1,746	△504
法人税等合計	△1,651	△34
少数株主利益	1	2
四半期純損失(△)	△2,953	△752

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△4,603	△784
減価償却費	5,763	5,408
のれん償却額	—	56
負ののれん償却額	△90	△103
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2	0
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△39	△91
前払年金費用の増減額 (△は増加)	428	375
受取利息及び受取配当金	△42	△54
支払利息	51	174
持分法による投資損益 (△は益)	58	48
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	—
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	29	13
固定資産売却損益 (△は益)	0	△0
固定資産除却損	143	10
売上債権の増減額 (△は増加)	2,153	2,915
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△14,324	△806
その他の資産の増減額 (△は増加)	6,587	2,350
仕入債務の増減額 (△は減少)	13,230	△1,314
その他の負債の増減額 (△は減少)	△1,104	△843
その他	259	152
小計	8,502	7,506
利息及び配当金の受取額	28	39
利息の支払額	△51	△51
法人税等の支払額	△2,813	△986
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,666	6,508
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△4	△24
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	100	—
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	—	205
固定資産の取得による支出	△7,433	△2,632
固定資産の売却による収入	3	35
事業譲渡による収入	—	628
長期貸付けによる支出	△554	△176
長期貸付金の回収による収入	1	5
定期預金の預入による支出	△50	△106
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,936	△2,064

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△106	—
リース債務の返済による支出	△614	△389
自己株式の取得による支出	△1	△1
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△2,199	△2,099
少数株主への配当金の支払額	△4	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,925	△2,494
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,196	1,949
現金及び現金同等物の期首残高	22,412	71,221
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	212	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,428	73,171

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日）

	飲料・食品の 製造・販売事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1)外部顧客に対する 売上高	79,305	647	79,952	—	79,952
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	55	55	(55)	—
計	79,305	702	80,008	(55)	79,952
営業利益又は 営業損失(△)	△1,276	124	△1,152	(2,590)	△3,742

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日）

	飲料・食品の 製造・販売事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1)外部顧客に対する 売上高	77,016	616	77,633	—	77,633
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	9	9	(9)	—
計	77,016	625	77,642	(9)	77,633
営業利益又は 営業損失(△)	978	129	1,107	(1,999)	△891

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分を基として行っております。

2. 事業区分

- (1) 飲料・食品の製造・販売事業…飲料・食品の販売、飲料の製造、運送業（飲料物流）、自動販売機関連事業
(2) その他の事業 …不動産事業、保険代理業、運送業（飲料物流以外）、外食事業

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日）および当第1四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日）および当第1四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。